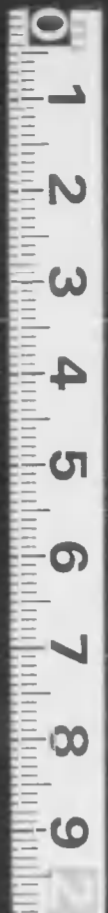


週寫眞報

情報局編輯
二月廿五日 第九百二十七號



昭和十一年二月廿五日 第九百二十七號 編輯局 印刷部 印刷



シンガポールは英國が
 東亞の地圖を色染めてゐた
 侵略の據點だつた
 同様の汚點が
 東亞人の心の中にも
 浸み込まされてゐたら
 陥落を機會に
 眼に見えないシンガポールをも
 撃破しておかなくてはならない



☆ 南方 最高指揮官 ☆
 ☆ 寺内壽一大將 ☆

上 當夏の現地に三軍を叱咤する南方方面帝國陸軍
 最高指揮官寺内壽一陸軍大將
 下部下將校に訓辭を與へる南方方面帝國陸軍總參
 謀長塚田攻陸軍中將



撮影 陸軍省

昭和十七年二月十五日午後七時五十分、シンガポールの敵軍は遂にわが軍門に降り、全マレー制覇の偉業は世界驚嘆の裡に完成した。北部マレーに兵を進めてより七十日、ジョホール水道渡過以來實に七日といふ世界戦史に不滅の戦果である。

驅れば畏くも米英に對する宣戰の大詔を拜し、猛然たる氣魄を以て、南方に軍を起して以來、數多の堅固な敵據點を次々に覆滅し、敵兵力に致命的痛撃を與へて、今敵の最大策源地であつたシンガポールに翻轉として日章旗のひるがるを見る。あゝ何たる感激であらう。神國日本の炳乎たる姿は、燦として東亞一帯に映え、久しく

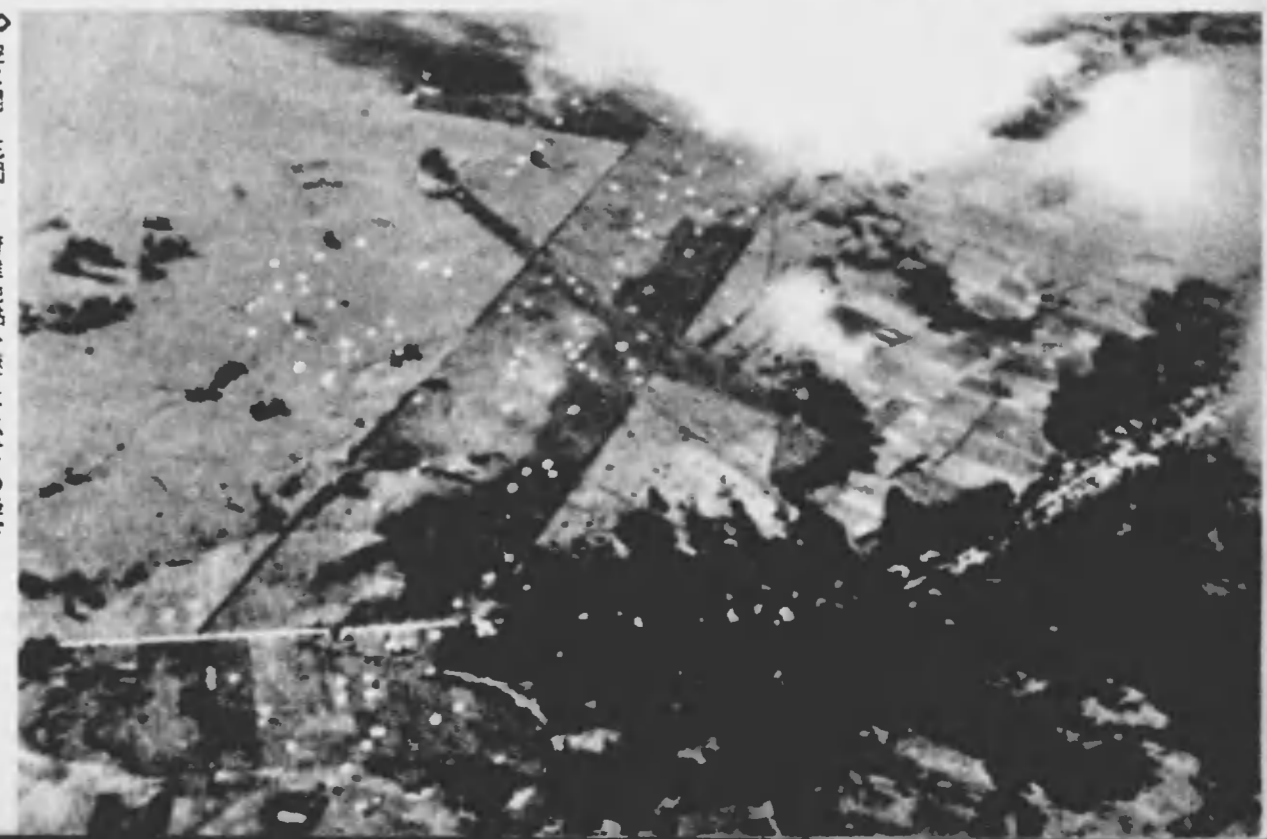
暴慢の限りを盡したイギリスの末路に叩鐘は鳴り渡りつゝある。この秋に當り、われは何よりも先づ、御禮の下、家を忘れ身忘れて勇戦奮闘した皇軍將兵に、深い感謝の念を捧げねばならぬ。と同時に、シンガポールの陥落は大東亞戰爭遂行に一階梯を築き上げたに過ぎないことを十分自覺し、驕る心を抑へ、氣を勵まして、いよいよ猛然と戦ひを續けよう。正に戦ひはこれからであり、衰滅の兆ある米英に、更に容赦なき痛撃を各方面に加へて、一日も早く徹底的にアングロサクソンの邪惡を世界から葬ること、戦半ばにして散華した幾多英靈にこたへるべきわれら一億の大任でなければならぬ。



〇真紅無比！輸送機を離れた純白の落下傘が次々と大輪の白雲のやうに空にとひ出す
 〇運に無血セシヘスの土を足下に踏みしめた！直ちに攻撃に移らんとする海軍落下傘部隊



〇一人また一人、必死に防戦する敵の猛射の中に着陸する海軍落下傘兵
 撮影 本間海軍報道班員



〇空に開く花園！着陸地点を照して堂々の降下
 〇陸軍輸送機より勇躍降下！落下傘が正に開かんとする重砲（陸軍省）



帝國陸軍 傘下落



〇落下傘をかなり捨てるや、直ちに武器を執つて敵を急追する陸軍落下傘兵
 撮影 陸軍省



海軍部隊の初陣



大東亞戦争開始以来、皇軍の赫々たる大戦果は、まさに全世界の驚異的となつてゐるが、世紀の勝利シンガポール陥つ！の報に先立つて、蘭印方面におけるわが陸軍落下傘部隊初の大活躍が明らかになされ、反樞軸国家群を恐怖のどん底に叩き込んだ
 即ち、さる一月十一日、セレベス島メナドの攻略に参加した海軍落下傘部隊は、初陣にもかゝらず堂々の戦果を収め、また二月十四日には陸軍落下傘部隊が蘭印最大の油田地帯であるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功し、直ちに所在の敵を撃破して飛行場その他を占領確保するといふ大戦果をあげたのである

ジョホール水道强行渡過



宮本三郎繪

線戦マルビ 西へ西へラングーンへ



モールメン占領と同時に息もつかせずサルウィン河対岸を攻撃



森林の峻険に砲を進めて敵追撃はまずく念



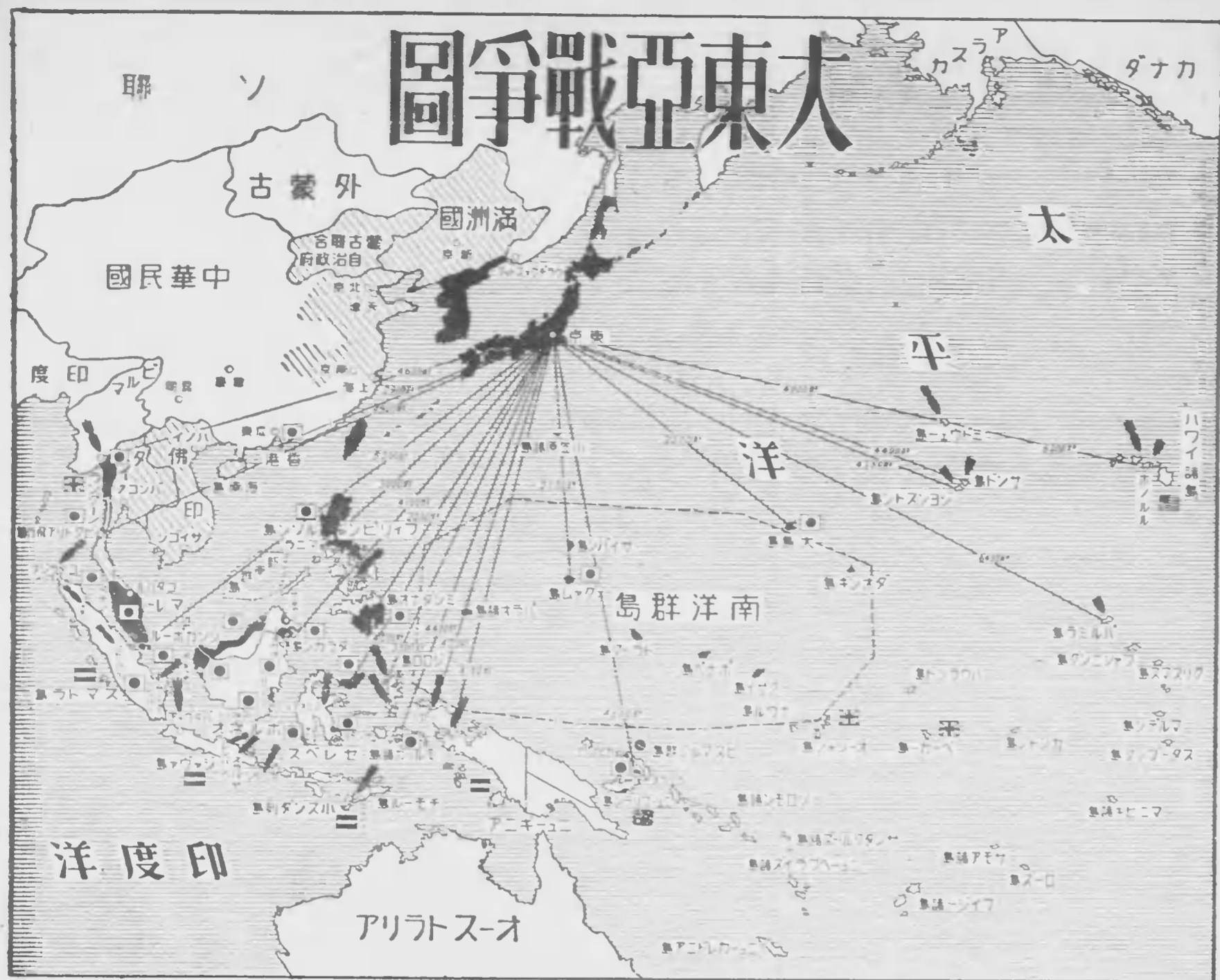
わが進軍を親愛の瞳を輝かせて迎へるビルマ人



モールメンは間近だ。猛撃の前に暫し山野跋涉の疲れを休める



泰ビルマ國境の山岳地帯を突破してビルマに進攻したわが精銳部隊は、連日の悪天候と険難な山地を克服、しかも大規模に破壊された難波な道路を踏破して隨所に敵を撃破し、一月三十一日遂にモールメンを完全に占領した
モールメンはビルマの首都ラングーンの外廓陣地として敵が戦略上極モールメン市街に入るわが勇士



大東亞戰爭圖

大東亞戰爭日誌



九日 ●海軍特別機隊はセレベス島南端の要衝マカッサルを襲撃し、二機を撃墜し、三機を損傷した。海軍は同島の首都マカッサルを大空襲し、エリタヤ、カマラン、タンジウ、ブリタタの各飛行場を攻撃、敵機二十機を撃墜し、諸軍施設を破壊した。

十日 ●南印ボルネオ方面陸軍はマナーゲロゴト上陸後陸路四百キロの要路を踏破し正午、南岸の要衝ハンジェルマシンを完全占領し、午後一時、ビルマ方面陸軍はサルウィン河右岸の要衝マルタパンを完全占領した。

十一日 ●早朝、シンガポール島要路を猛攻中の陸軍は激戦の後、シンガポール島最高地ブキテマの要衝を奪取した。

十二日 ●マレー方面陸軍は全力をこめてシンガポール島要路水池周縁地区の大激戦に協力すると共に大舉して退避準備中の敵軍を撃破した。

十三日 ●シンガポール島(港)は爾今、(即南島)を呼稱することと定めらる。

大東亞戰爭日誌

十四日 ●未明、海軍はシンガポール島セレーター軍港に進入、正午これを占領。午前十一時二十七分、強力なる陸軍落下傘部隊は南印最大の油田地帯たるスマトラ島パレンバンに對する奇襲降下に成功、敵を撃破して飛行場その他の要地を占領確保すると共に更に結果を擴張。陸軍は本作戦に密接に協力すると共に十五日午前、同地飛行場に進入し、シンガポール方面陸軍はシンガポール島を全面包圍せしめ、敵艦隊を同島南方海面及びパンカ海峡附近に捕獲攻撃、二月十日より日本までの間に合計三十二隻を撃沈破壊または擱坐せしむ、その結果(主として大破)一、特設巡洋艦一、潜水艦一、砲艦二、敷設艦一、特務艦一、三万トン級輸送艦一、八千トン級輸送艦一、五千トン級輸送艦四、三万トン級輸送艦二、(二)撃破、蘭國巡洋艦一、輸送艦一、特務艦二、輸送艦一、魚雷艇一、(三)擱坐、輸送艦一、輸送艦一

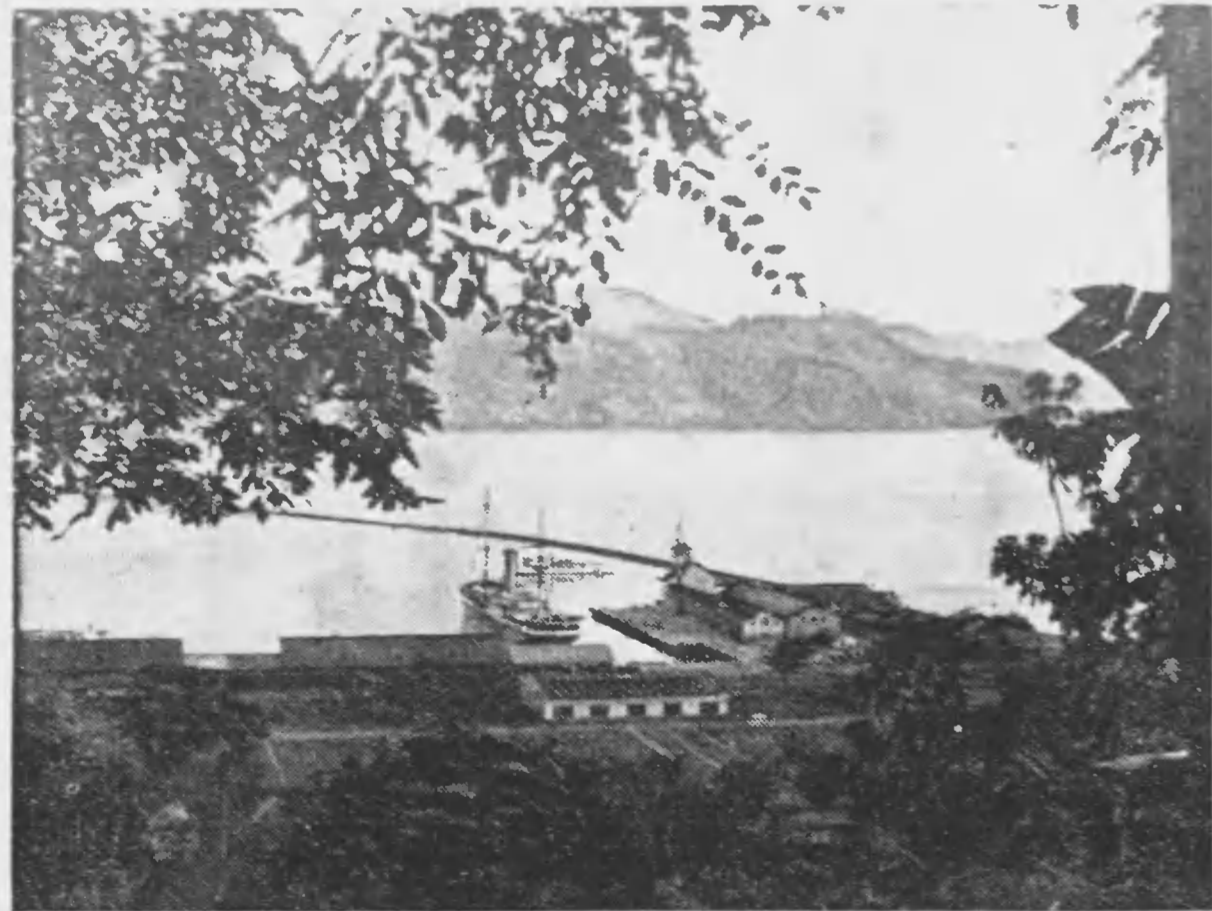
十五日 ●午後七時、敵マレー軍總司令官バロン中将はシンガポールの戦線第一線ブキテマ高地のフォード會社跡にて會見、わが最高指揮官に無条件降伏を申し出、こゝに敵が新攻不落を豪語せる際、シンガポールは皇軍の猛攻僅か七日にして攻陥成り、今や帝國はこれを東亞再建の一大據點とする能く不動の雄勢を整へることとなる。去る一月十一日海軍落下傘部隊はセレベス島メナド攻陥戦に参加し、殊々たる戦果を収めたりと發表さる。

十七日 ●シンガポール島(港)は爾今、(即南島)を呼稱することと定めらる。



▷ スマトラ東海岸のトムプン河口に堆積された黒いゴムの山

◁ スマトラの東岸パレンバン地方。南部スマトラの陸上交通の中樞地



◁ メダン市のエンマハーフエーン港は同島唯一の石炭積出港で名高い



ラトマス 新戦場 典辭



◁ メダン市の中心街、メダン郵便局前通り

わが軍のシンガポール占領は、ジャバ、スマトラ両島が受けた爆撃より以上の衝撃を蘭印全般に與へた。といふわけは蘭印の経済的運命が全般的にシンガポールにかけられてゐたからである。その上、ジャバ、スマトラはシンガポールの占領で軍事的にその死命が全く制せられた上、わが軍の劃期的な落下傘部隊によるパレンバン、メナドの攻略といふ難業によつて蘭印全島は軍事的に、経済的にたゞ徒らに立ちすくみの體である。さきにボルネオのトラカシ失陥以後米英軍最大の石油供給源スマトラ島のパレンバン油田地方はいままた皇軍の手に歸した。蘭印全島のうち石油産出高の第一位を保ち、パレンバン油田地

帯及びチャンビー油田地帯などを保持つスマトラ島の正體を窺つてみよう

× ×

明日の蘭印を背負つて立つものはジャバでなくボルネオでもなく一に雨の多いスマトラ島であるといはれる。スマトラは面積四十七万平方キロ(朝鮮の二倍よりやや大きい)もある大きな島であるが、人口は僅かに八百万、その密度はわが國內地の十分の一ほど

帯及びチャンビー油田地帯などを保持つスマトラ島の正體を窺つてみよう

× ×

明日の蘭印を背負つて立つものはジャバでなくボルネオでもなく一に雨の多いスマトラ島であるといはれる。スマトラは面積四十七万平方キロ(朝鮮の二倍よりやや大きい)もある大きな島であるが、人口は僅かに八百万、その密度はわが國內地の十分の一ほど

供給源といはれるだけあつてスマトラ石油の六十パーセント三百七十パーセントの産出量がある。なほこの他スマトラの島内所産の油田があるが、オランダ政府は各國が持つた開發権の獲得運動を封じて自國の利益を占むをはかつてきた。現在この島の開發権はオランダ、イギリス系資本会社と蘭印政府系及び米國系会社の三つに限られて

わが蘭印制覇によつてアメリカが第一に悲鳴をあげるであらうことはゴム資源を南方から輸入できなくなつたことである。このゴムの栽培こそ本島の主要産業で、石油の産出とともに世界的に名聲が高い。ゴムの産額は蘭印總産額三十万トンの約四十五パーセントを占め、いまや英領マレーを凌がん勢ひであつて、各國の投資によるゴム栽培は盛んであるが、邦人のゴム栽培に従事するものもかなり多い。中でもボルネオゴム園、スマトラゴム拓殖、南洋ゴム園等の諸会社は大いに活躍してゐた

またゴムや煙草の栽培に次いで油椰子の栽培が相當に有望視されてゐる。油椰子の油は人造バターの製造原料として適當なものであり、油脂としての獨特な地位を持つてゐる。ゴム栽培と同様にこの方面にも邦人の活躍が目立つてゐる

なほこのほかに錫産物として錫、石炭、ボーキサイト等の重要産物もある

わが蘭印制覇によつてアメリカが第一に悲鳴をあげるであらうことはゴム資源を南方から輸入できなくなつたことである。このゴムの栽培こそ本島の主要産業で、石油の産出とともに世界的に名聲が高い。ゴムの産額は蘭印總産額三十万トンの約四十五パーセントを占め、いまや英領マレーを凌がん勢ひであつて、各國の投資によるゴム栽培は盛んであるが、邦人のゴム栽培に従事するものもかなり多い。中でもボルネオゴム園、スマトラゴム拓殖、南洋ゴム園等の諸会社は大いに活躍してゐた

またゴムや煙草の栽培に次いで油椰子の栽培が相當に有望視されてゐる。油椰子の油は人造バターの製造原料として適當なものであり、油脂としての獨特な地位を持つてゐる。ゴム栽培と同様にこの方面にも邦人の活躍が目立つてゐる

なほこのほかに錫産物として錫、石炭、ボーキサイト等の重要産物もある



マール 下南
一記

火箭の如く
栗原村欣三(手記)

ムアール殲滅戦

一月十一日以来、自轉車編成で
タプロードを進軍した。○追撃隊
は、一日平均約百キロの進軍速度
で、リンキル、サラ、ヤパン、シ
リアル、アロルガラ、ジャン、タ
ンガク等の西海岸都市を襲撃し、
席巻して、マアールの陣地に據る
強力な敵約六百と遭遇したのが一
月十五日の真夜中であつた。マア
ールは、○部隊が攻
撃しつゝあるマアール中央部のゲマ
スの陣地と繋がる強固な敵の抵抗
線である。敵の主力はゲマスにあ
り、マアールは、ムアールの線には
最後秀の機械化装備を誇る約三千
の兵力を配備してゐたのだ。○
追撃隊の先鋒山本隊がマアールの敵
と正面からぶつかり、これを一枚
みに突破して一擧にムアール河畔
へ進出したのが、十五日の日没時
であつた。

河野の湿地帯まで進出した。○
追撃隊は、無念にもこゝで進路を
阻まれたが、部隊長は附近の部落
を捜索して三艘のカヌーを徴発せ
しめた。八人乗りのカヌーであ
る。このたつた三艘のカヌーによ
る部隊全員の渡河が完了したの
は、十六日の正午近くであつた。
敵はこの渡河地帯を狙つて、終
夜砲撃を浴びせかけ、敵は不気
味なプロペラの唼りを立てて下
下砲撃を演じた。植村通等の談話
によれば、部隊の渡河地帯は、敵
砲火の集中を浴びて、終夜砲撃の
やうに明るかつたといふ。もつて
この砲撃と爆撃の物凄さが想像さ
れるであらう。渡河を完了した山
本部隊、大村部隊は、一擧にム
アールに約二千の敵を包圍し、十
六日の日没時に到るまで激戦を繰
り返して、徹底的な殲滅戦を演じ
たのである。この戦いで山崎少尉
は兵十二名を指揮して、海岸傳ひ
にムアールを奇襲して、肉弾戦に
よつてムアールを占領したことは
特筆すべき殊勲であらう。この勇
敢無比な山崎少尉は、大ぎのバク
リの戦後、華々しく敵中に斬り
込らに敵陣へ突込む兵隊。その
正面で火を吐く敵自働小銃
隊下萬歳を叫んでバクリと將棋
倒しに仕掛けて行く兵隊。戦友の死
屍を踏み越えて、眞一文字に突撃
を繰り返すこと七回、正面からは
戦車、野砲の路上射撃に援護され
て壯烈極まりなき攻撃を加へる伊
藤部隊——この前後からの猛攻
に道路上の一點へ壓縮された敵
軍。爆破される戦車、砲をあげ
て燃え落ちる装甲車とトラック。
必中の命中弾を浴びて、吹っ飛ば
る戦車。右往左往に逃げ惑ひ、ある
ひは斬られ、あるひは銃剣の餌食
となり、機銃の掃射を受けて難き
倒される無数の瀝洲兵——

これを占領し、十八日夜には大村
部隊が敵陣地の後方を迂回して、
敵の退路遮断に成功してゐたので
ある。バクリの總攻撃は、先づ十
九日午前十時戦車隊によつて火蓋
が切られたのである。勇猛五反田
大尉は、○隊の戦車を指揮して、
陣地に敵陣地へ突入して行く。
七つの丘の第一陣地は見事に突破
したが、ゆるやかな峠を乗り越え
て第二陣地とみる瞬間、百雷一
時に落つるが如き砲撃と爆撃——
この砲撃と爆撃が約二十分間に
つて、突然、死の沈黙に歸つてし
まつたのだ。敵陣地は不気味に静
まり返り、木の葉を揺らす微風も
ない。その無意味な静寂の天地
を、白銀色の太陽が照りつけてゐ
るだけだ。この時の光景を○部
隊長は、かう語つてゐる。
〔無念にも戦車隊は全滅したの
だ。あの二十分間にわたる猛烈な
砲撃が鳴りやんだ瞬間に、俺は戦
車隊の壯烈な最後を直撃した。地
輪も砕けよとはかりに撃つて撃
つて撃ち捲くつてゐた敵砲火が、
突然に沈黙したのだ。その長い長
い不気味な沈黙を破つて聞えるの
は、椰子と檳榔樹の葉蔭から聞え
る蟬の聲だけだつた……〕

この激戦中に、ついに大村正
一部隊長は、砲弾を真向に受けて
壯烈極まる戦死を遂げ、部隊の指
揮は、瀧尾中尉が執るに至つたの
である。部隊長の壯烈極まる戦死
の光景を目のあたりに直視した
部下は、ついに砲弾と爆撃に黙し
てゐられなくなつた。噴火さなが
らに砲弾が炸裂するジャングル内
で、この時突如砲撃したる君が代
の吹奏が聞えたのである。いは
ずと聞える大村部隊が退却を飾
る決死の突撃である。喇叭手の君
が代の吹奏と、天皇陛下萬歳の絶
唱！

バクリの殲滅戦が完了するのと
殆んど同時に同じくして、山本部
隊はベンドロック峠に二十門の砲
を有する二千の敵を奇襲して、昨
の鞍部を占領確保してゐた。そし
て正面ヨンベンからの敵増援軍の
攻撃を跳ね返し、後方側面の敵

これより早く一月十六日バトバ
ハの河口へ敵前上陸した。○部隊
岡部隊は、バトバハの南方約八キ
ロの地點において敵の包圍を受け
つゝ十日間を頑張りぬいて敵を牽
制し、○部隊主力のバトバハ攻
略を容易ならしめた功績もまた、
特筆すべきであらう。即ち二十日
から二十四日までヨンベンの増援
軍をベンドロック峠において牽制
してゐた山本部隊は、その任務を
解かれるや敵竹の勢を濁流の濁流
を渡して一路ヨンベンバトバハ
へ街まで南下してバトバハの側背
に迫り、大村部隊と頭角を擡げた
のが二十五日であつた。バトバハ
の正面は○追撃隊がひた押しに
攻撃を加へつゝ、渡河地帯を確保し
た。敵の砲撃が現はれて、○本
隊の渡河地帯を砲撃した砲撃を加
へたのは、この時である。マラッ
カ海峽は、すでに海軍の制壓
下にあつたが、この近海は遠浅の
ため、潜水艦の攻撃の自由を缺い
たことは、残念であつた。砲撃は



バトバハ攻略

突如聞える君が代吹奏

急追ハリットスロンへ

バクリの殲滅戦が完了するのと
殆んど同時に同じくして、山本部
隊はベンドロック峠に二十門の砲
を有する二千の敵を奇襲して、昨
の鞍部を占領確保してゐた。そし
て正面ヨンベンからの敵増援軍の
攻撃を跳ね返し、後方側面の敵

これより早く一月十六日バトバ
ハの河口へ敵前上陸した。○部隊
岡部隊は、バトバハの南方約八キ
ロの地點において敵の包圍を受け
つゝ十日間を頑張りぬいて敵を牽
制し、○部隊主力のバトバハ攻
略を容易ならしめた功績もまた、
特筆すべきであらう。即ち二十日
から二十四日までヨンベンの増援
軍をベンドロック峠において牽制
してゐた山本部隊は、その任務を
解かれるや敵竹の勢を濁流の濁流
を渡して一路ヨンベンバトバハ
へ街まで南下してバトバハの側背
に迫り、大村部隊と頭角を擡げた
のが二十五日であつた。バトバハ
の正面は○追撃隊がひた押しに
攻撃を加へつゝ、渡河地帯を確保し
た。敵の砲撃が現はれて、○本
隊の渡河地帯を砲撃した砲撃を加
へたのは、この時である。マラッ
カ海峽は、すでに海軍の制壓
下にあつたが、この近海は遠浅の
ため、潜水艦の攻撃の自由を缺い
たことは、残念であつた。砲撃は

バクリの殲滅戦が完了するのと
殆んど同時に同じくして、山本部
隊はベンドロック峠に二十門の砲
を有する二千の敵を奇襲して、昨
の鞍部を占領確保してゐた。そし
て正面ヨンベンからの敵増援軍の
攻撃を跳ね返し、後方側面の敵

バクリの殲滅戦が完了するのと
殆んど同時に同じくして、山本部
隊はベンドロック峠に二十門の砲
を有する二千の敵を奇襲して、昨
の鞍部を占領確保してゐた。そし
て正面ヨンベンからの敵増援軍の
攻撃を跳ね返し、後方側面の敵

バクリの殲滅戦が完了するのと
殆んど同時に同じくして、山本部
隊はベンドロック峠に二十門の砲
を有する二千の敵を奇襲して、昨
の鞍部を占領確保してゐた。そし
て正面ヨンベンからの敵増援軍の
攻撃を跳ね返し、後方側面の敵

勝利の法律

戦時 民事特別法

裁判沙汰は愚の骨頂
お互ひのため圓滿に

裁判はたとへば外科手術のやうなものであり、これに對して調停は保健衛生のやうなものであるといへませう。こんどの戦時民事特別法では戦時下に相應しくなるべくこの外科手術をやめて保健衛生に力を注ぐ建前から金銭債務の調停制度を廣範圍に擴張しました。私どもの間でよく起きる、貸した金を返せ、返せぬといふやうな争ひは結局訴訟によつて解決するのが普通ですが、よく考へてみると訴訟をするには相當の時間と費用がかかるので、お互ひが意地付くになつたため數十圓の金額の訴訟に幾年もの月日と家産を傾ける費用をつかひ、しかも訴訟には勝つたが相手が無資力になつたため金は一文も取れなかつたといふやうな話もよくあることで全くつまらぬ話です。しかも世の中には返す意志は十分にありながらにつつも、つつも動きのない債務者が澤山にゐることでせう。そこで金銭債務の調停制度はかうした誠實な債務者を保護す



る債権者からその借金を整理して経済的に更生させるために貸付けられたものといへませう。けれどもかかるして債務者を更生させることは決して債権者に損をさせる結果とはなりません。債権者がもし一生たつても経済的に行き上らなかつたとしても、債権者の持つてゐる金をとり立てる権利といふものは債務者にも等しいものとして終るより外ないからで、結局は債務者を助けて借金を返せる途をつくつてやるのが同時に債権者をも保護することになるわけでは、その證據には債権者からの調停申出も

出る所へ出て見つとも良くない願をさらけ合ふ人達

この金銭債務の調停は、いままで農業者とか中小工業者を目あてにしてゐたので大體貸借の金額は千圓を超えないものとして千圓以下の貸借に限るものと定められてゐましたが、戦下の影響が前記の何であるかを問はずだんだん進んで私どもの生活の上にもおはされてくるにつれて全路上の争ひもやうやく多くなつてくる傾きがみられますので、こんどはさらにその金額の範圍を擴張して二千圓でも五千圓でも金額の多い貸借に拘らざるが及びて貸借して譲り合ひ、協議して争ひをせよとせよとする限りは裁判所でも喜んで調停に乗り出すことになりました。

争ひは信用を失ふもと
商人同志も話し合ひて

もと／＼商人といふものは信用を基礎にして取引を行つてゐる者であり、かつ、これが一たび相手方によつて裁判を起されると、世間一般の信用は先づ失はれるものと思はねばなりません。商事の調停には商事に通じた實際家も加はつてお互ひの話し合ひにより手帳に早うしかも秘密の裡に圓滿な解決を同るものでありませう。商人にとつては大變に有利な制度であるといはなければなりません。しかも商人は打算的で商事上の争ひに感情を混じへるやうなことも割に少ないので調停が成立する率も一般の金銭債務調停に比べて多くなければならないはずで



ものことは煩く聞く
おだやかに解決へ

今日ではたとへば裁判の結果、金を貸した事實が確定しても債権者が債務者から實力でそれを取り返すといふことは禁じられてをり、債権者はたゞ國家の權力によつてそれを取立てることができに過ぎません。裁判所は債権者の申立てによつて債務者のもつてゐる不動産を拍賣したり、或はは不動産を債権者に交付することにありますが、これらの強制執行はこれまで裁判官が法律で定められた劃一

の調停もこれまで東京、大阪、京都、神奈川、愛知及び兵庫の三府三縣だけに限つて施行されてゐたのをこんどは全國的に擴大することにしました。

尺度で測れぬ事情も
ある、裁判官の才量で

的ない、度を超えてよめたいは機械的な判断を下してゐたものでした。しかしかうした戦時下では國民の生活もいよ／＼複雑化してきますので一律に法の尺度で測るといふことは困難です。こんどの戦時民事特別法ではこの點を改め、債務者の事情が尋常に氣の毒のやうな場合には、裁判所で債権者の事情も考へた上、債権者にとつてさほど不利でないことが認められれば、その執行を延ばさせたり破産の宣告を保留することができませう。新制による破産とか失業者のため、いままゝ借金の返済がでない者に機械的な援助を與へることになりました。

貴重な時間を、費すな
い、裁判手續は簡略に

訴訟に「公事三年」といふことがありますが、これは裁判が非常に回数を要することを諷刺したもので、その手續の煩はしいことを意味してゐるものともみられませう。こんどの戦時民事特別法はこの點についても大いに考慮を拂ひ、裁判の際の證人呼出しの手續をも大變に略式にして、いまままでいかぬしい呼出狀によつて呼出してゐたのを電話やハガキでもそれができるやうにしたほか、重要な職場にある人に對しては裁判所に出席する代りに書面を提出させてこれを證據として採り上げることにし、民事裁判の簡易化をはかつてゐます。

大御威の威稜に

シシ港陥落の喜びに沸く帝都



祝新嘉坡陥落

祝シカール

祝大北

祝大北



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 一 日 満洲國建國十周年記念日 郵便局で慶祝記念切手賣捌き開始
- 三 日 地久節 皇后陛下には御三十九回日の御誕生を迎へさせられる
- 六 日 大詔奉戴日
- 八 日 第二十七回陸軍記念日 陸軍記念日 戦果にこたへて新島につとめませう
- 二十一日 春季皇靈祭
- 二十七日 九年前帝國 國際聯盟を脱退した約四千六百の遺兒が國神社に参拜
- 三十日 中華民國政府成立して二

時に時共榮國內に

満洲國は十歳の誕生日



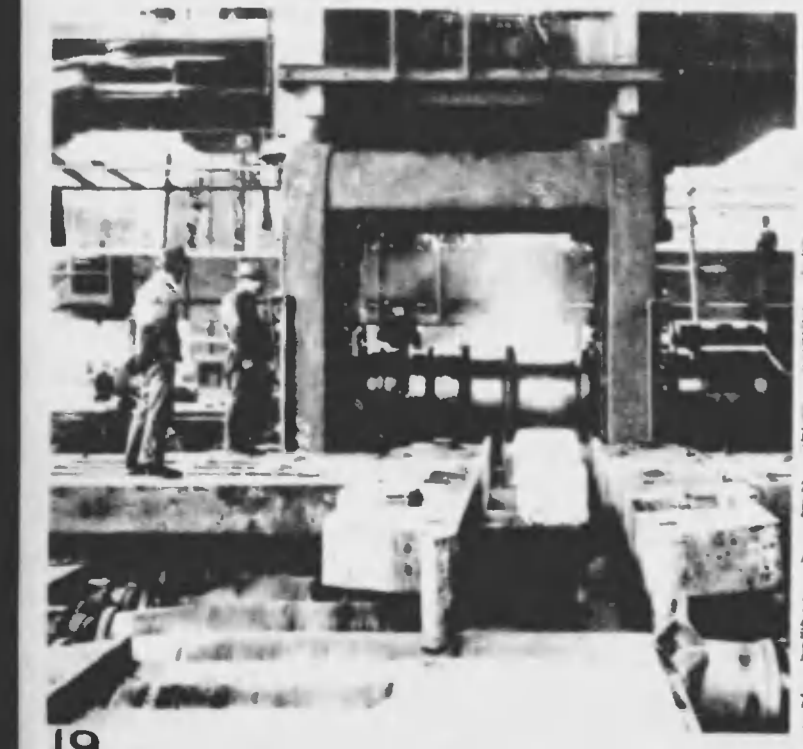
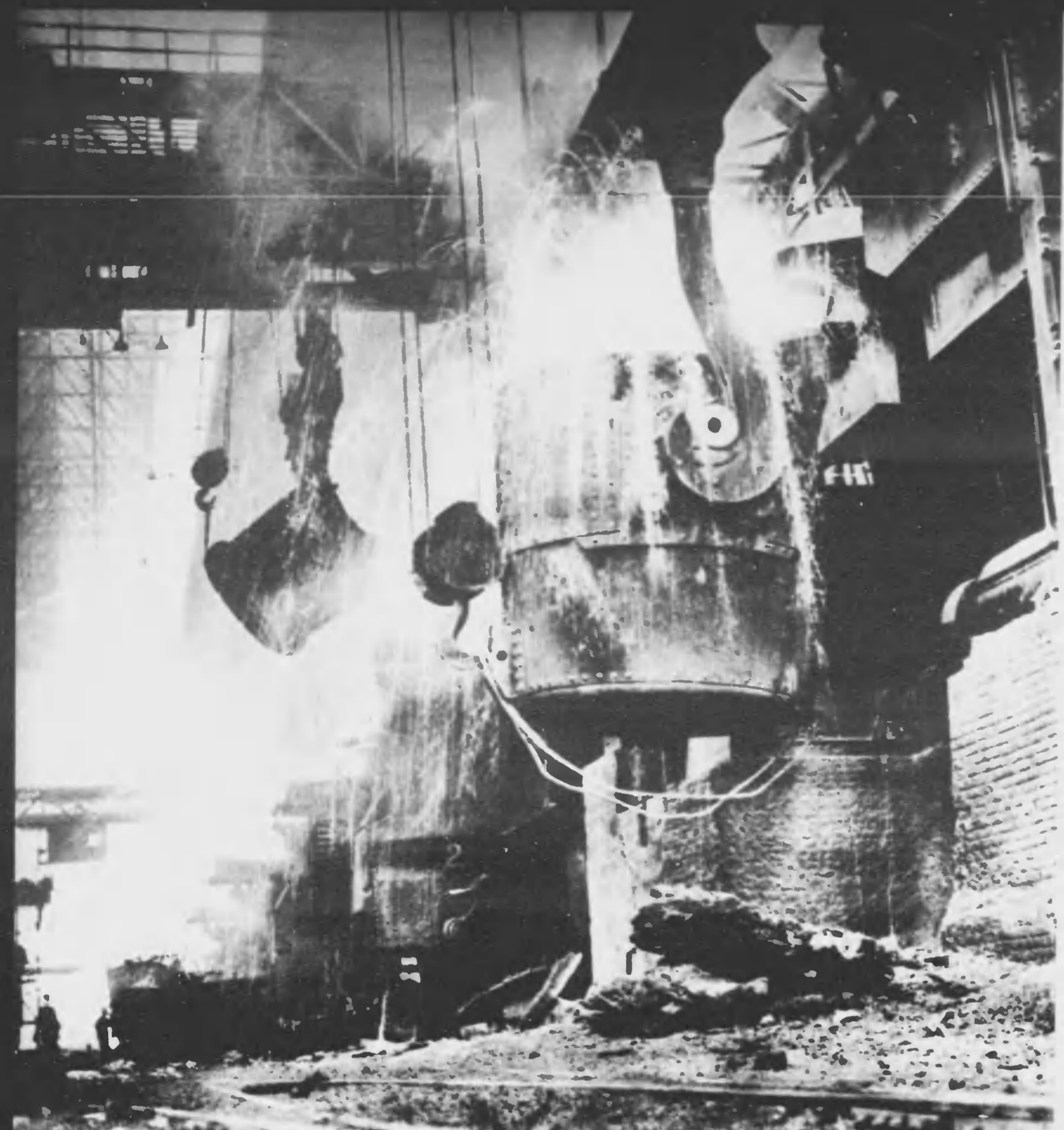
本報記者は、最近、共に第二期建設(開發)五年計書において、最重要部門とされた。これは種家(錦州省)における採炭爆発

満洲重工業界の花形、昭和製鋼所。灼熱の熔鐵は平爐で処理され、火花を散らして鋼に流れる

撮影 南滿洲鐵道株式会社、満洲重工業開發株式会社



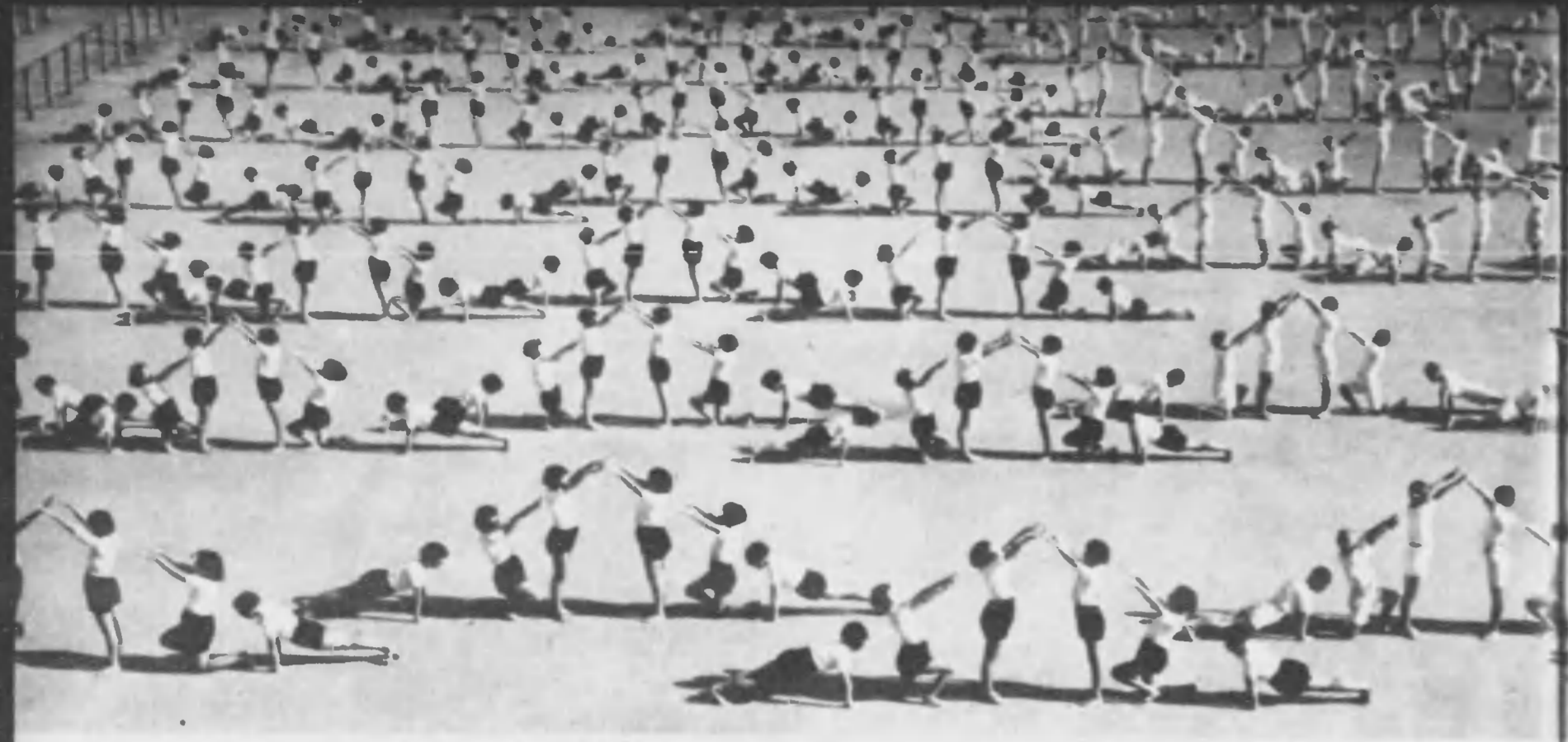
通信機は普及し、普及によつて悠々たる満洲は一日と迅速な活版化している(右)満洲の真実の製作(左)満洲青年のパンチ作業



鋼塊は駆逐機で駆逐され段々小さな鋼片となる

三月一日、友邦満洲國は大東亞諸民族の羨望のうちに輝かしい建国十周年を迎へる。回鑒訓民詔書の中に、日滿兩國の關係について「友邦と一徳一心」といふ御言葉が示されてゐるが、この御言葉の通り過去十年、四國の情勢は色々移り變つたが、日滿兩國の情愛は年々ともにこまやかに加へるはかりであつた。かうして、満洲國は誕生以來併か十歳といふ弱齡にも似ず、今では世界に押しも押されぬ立派な國家として成長した。實際、政治、經濟、文化その他の面を見ても、満洲國の姿は、その傳統的王道精神の中にも、潑刺たる近代性をまん／＼とた／＼とて間然する所がない。そして今あらゆる面で第一期の建國基礎工作時代を経て第二期の建設へとわきめもふらずに幕進し始めたのである。

いふまでもなく、満洲は日支と共に大東亞共榮圈の基軸となる國である。約四千三百萬人の満洲國人はこのことを誇りとし、われ／＼と同じ氣持で、われ／＼の隣になり日向になつて、或ひは北邊の固めに、或ひは物資の生産に、日夜分たす涙ぐましい努力を續けてゐる。建国十周年の意義深い今日、われ／＼は特にこのことを銘記し、心からこの國の人々の努力を讃へ、また感謝しよう。と同時に、われわれもまた絶えざる友情をこの國に示して、行末長き發展を祈らう。

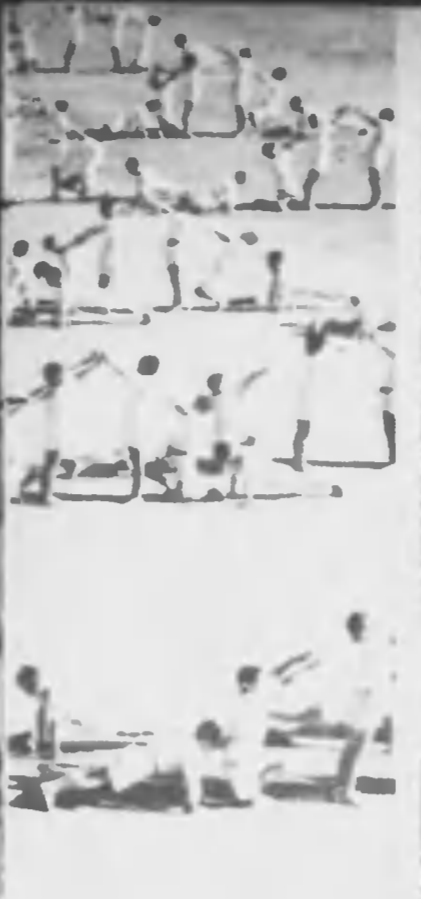


すなり二列に並んだ低機
棒にオカッパ、ボウズ頭
合せて百四十が、二本の
胸に身體の全重量を支へ
ピンとそる

全筋肉を緊張させる富田体操 全校生徒
は校庭せましと亂舞する



筋へた身體は姿勢が不健康にくづれない
教場でも身體を起してと注意などしなく
とも自ら直身に正しくなる



さあ 次の時代も大丈夫

徳島縣富田國民學校兒童

健康の基礎となるリズムカスな正常行進
呼子一つを合図に、花模様を描き、いろ
いろな圖案を描く。楽しみうちに身體
の均整がとれてゆく



撮影 吉田 幸

校庭ばかりでなく野外に出て自然に親し
みながら體力を練らう。樹木を利用した
遊童に強い臂力は鍛へられる

写真週報 昭和十七年三月十日 第三編 戦時特設新聞 昭和十七年三月五日発行 毎週一回水曜日発行 第百十巻



行銀海東 屋古名・店本

内閣印刷局印刷發行

(列傳紙張)-A4 縮小定額はさき大の書本)